つるさき

発行所
鶴崎神社
〒701-0304
早島町早島2220
TEL 482-0097
FAX 482-0097
IP-phone
050-3318-1809
URL
http://www6.ocn.ne.jp/~turusaki/

墨矩の儀を奉仕する棟梁と検知役

地鎮祭と手斧始め祭

初詣も一段落した平成二十年一月二十五日、整地された社殿建設地において、地鎮祭が執り行われた。

当日は冬晴れの好天に恵まれ、社殿建設委員が見守る中、祝詞奏上、清祓の儀、刈初の儀、穿初の儀、玉串拝礼と続き、施工者社長が検知役となり工匠（大工）の手により幣殿に使用する丸柱が祭場に運び込まれ、手斧始祭も併せて行われた。

手斧とは、木を削る道具で、縦挽きのノコギリがなかった時代に、伐り倒した木材から柱や板を取る場合、最初に縦に割り裂いた後に手斧で削りとって、最後に槍鉋で仕上げるという手順であった。その工程を儀式にしたものが手斧始祭である。

工匠により墨矩の儀（曲尺と墨指を用いて材木の寸法をとる）墨打の儀（寸法に従い、墨壷の糸を繰りだして直線を引く）釿打の儀（手斧で荒削りをする）などが古式に則り行われた。

神道Q&A

【質問】

お祭りやご祈祷などで神主さんが奏上する「のりと」について教えて下さい。

【答え】

祝詞（のりと）とは、祭典に奉仕する神職が神様に奏上する言葉であり、その内容は神饌（しんせん）（お供え物）・幣帛（へいはく）（神饌とは異なる布帛、金銭等）を供えて、御神徳に対する称辞（たたえごと）を奏し、新たな恩頼（みたまのふゆ）（神の恩恵を尊ぶ事）を祈願するというのが一般的な形といえます。

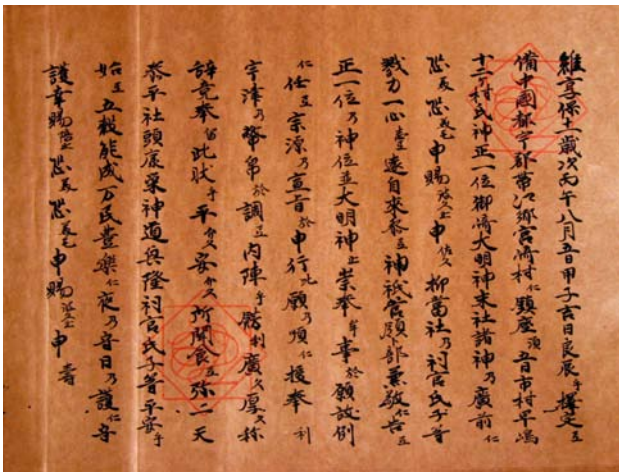
その起源は古く、記紀神話にも天の岩屋の段で、天照大御神がお隠れになられた天の岩屋の前で、天児屋命（あめのこやねのみこと）が「布刀詔戸言（ふとのりとごと）」を奏上したことが見られます。

また、『延喜式』巻八には現存する最古のものとして、朝廷の祭儀に関わる二十七編の祝詞が収録されており、現在でも重視されています。

我が国は、「言霊（ことだま）の幸（さきは）う国」とも称されるように、言霊に対する信仰が見られます。言葉には霊力が宿り、口に出して述べることにより、この霊力が発揮されると考えられています。

例えば忌み嫌われる言葉を話すと良くないことが起こり、逆に祝福の言葉で状況が好転するというもので、婚儀など祝儀の際に忌み言葉を使わぬよう注意を払うのも、こうした考え方によることなのです。

祝詞には、こうした言霊に対する信仰が根底にあるため、一字一句に流麗で荘重な言い回しを用いて、間違えることがないよう慎重に奏上されます。



享保11年（1726）神祇官領から神階正一位を賜った際に奏上された祝詞

雅楽を演奏してみませんか？

当社では雅楽に興味がある方を募集しています。

現在二名の氏子の方が毎週月曜日の午後から社務所において練習を行っており、当面の目標は、平成二十一年に竣工する新しい社殿での祭典に雅楽を奉納することです。

雅楽とは

約一四〇〇年前、大陸や朝鮮半島から日本に伝わった奏楽が、日本風土の中で培われ「雅楽」として平安時代中期に大成されました。現在まで受け継がれている合奏音楽としては世界で最も歴史が古く、完成された音楽体系を持ち、歴史的価値が高く評価されています。

雅楽に使う楽器は笛、太鼓、琴など多数ありますが当社では当面、龍笛（りゅうてき）（横笛）、篳篥（ひちりき）（縦笛）、笙（しょう）（ハーモニカのような音がする笛）の三管を行います。

楽器を持っていなくても雅楽に興味がある方は神社まで連絡下さい。

社殿建設の様子

平成十九年の年末までに造成工事及び両本殿の移設工事を終え、本年からいよいよ社殿建設の本体工事に入った。

一月二十五日に地鎮祭を終え、排水管埋設、向拝基礎及び間知石（けんちいし）積み、社殿基礎地中梁打設が行われている。

祭神の吉備津彦命が休息されたとされる「休息石」を本殿脇に移設

19㎜と13㎜のダブル鉄筋地中梁

排水工事に使用された200㎜のVP管

拝殿前面の石工事

向拝、犬走り、雨落ち側溝の基礎

地中梁の埋め戻し

拝殿基礎捨てコン用型枠設置

龍王神社が竣工

（帯高南古開）

倉敷市帯高南古開の氏神様である龍王神社が平成十九年十二月二十五日見事竣工された。

この神社は棟札によると天保十年（1839）と明治四十一年に改築を行っているが、その後老朽化が進み氏子の総意により改築を行う事となり、平成十九年十月二十五日仮殿遷座祭、同十一月六日地鎮祭、同十二月二十五日本殿遷座祭、平成二十年一月十九日竣工祭が厳粛に執行された。

社名を刻した社号標も設置され、氏子のよりどころとして面目を一新した。

銅板寄進のお願い

本年からいよいよ社殿の建設本体工事が開始されます。

当社では、新しい社殿に葺く銅板のご寄附をお願い致しております。ご寄進下さいました方のお名前等を記入いただき、屋根に上げさせていただきますので、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

一枚　二、〇〇〇円

神社社務所にて随時受付致しております。

諸祈祷・出張祭の案内

当社では左記により随時ご奉仕致しております

◆初宮詣・交通安全・厄除・安産・家内安全・当病平癒その他

◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・宅神祭・神葬祭等

ご希望の方は前もってご連絡下さい。

祭事暦

五月十七日（土）［午後七時］
　春季大祭宵祭（露店あり）
五月十八日（日）［午前十時］
　春季大祭【供膳祭】
七月三十日（水）［午後五時］
　夏越祭【輪くぐり祭】（露店あり）
毎月一日（午前九時）月次祭
※月次祭にお詣りの方は、拝殿にご昇殿下さいまして祭典に参列して下さい。